

## 第7回「共済年金職域部分と退職給付に関する有識者会議」（議事概要）

1. 日時 平成24年7月5日（木）17:00～17:30
2. 場所 総理大臣官邸4階大会議室
3. 出席  
（委員）（50音順、敬称略）  
久保田政一、権丈英子、菅家功、関ふ佐子、保高芳昭、森田朗、山崎泰彦  
（政府）  
岡田副総理、中川公務員制度改革担当大臣、園田内閣府大臣政務官、  
加賀谷総務大臣政務官、三谷財務大臣政務官、城井文部科学大臣政務官
4. 議事次第
  - ・ 開会
  - ・ 意見交換
  - ・ 岡田副総理挨拶
  - ・ 閉会
5. 議事内容
  - 森田座長より、今日の議事の確認が行われた。
  - 「資料1」に基づき、前回の議論や委員の指摘を踏まえて報告書案をどのように修正したのかといった点を中心に、財務省から説明があった。
  - 報告書案については、全委員から了承とのことであった。個別の意見として委員から出された主なものは以下のとおり。
    - ・ 公務員の退職給付の在り方について、新しい考え方を整理した、内容のある報告書になったと評価している。
    - ・ 年金払い退職給付の金額を小さくすることは、国民の理解を得ながらスタートするためには意義がある。
    - ・ 少数意見も含め委員の意見をバランスよく整理していただいた。
    - ・ 一部報道では誤解もみられたので、今後よく説明していただきたい。
    - ・ 退職給付にかかる今後の検討課題についても、報告書の考え方に沿って検討していただきたい。
    - ・ 国際的にみて日本の公務員はモラルが高く能率的であると思うが、今後、公務員制度の在り方を長期的な観点からオープンに議論していくことが必要ではないか。
    - ・ 年金払い退職給付は、現行職域部分と異なるということがすっきりと整理されているので、国民に対してよく説明を尽くすことが重要である。
  - 最後に、当有識者会議としてこの報告書案のとおり取りまとめることとし、委員の方々の御了承をいただき、閉会。

<文責：有識者会議事務局（速報のため事後修正の可能性あり）>